

災害に強い持続可能な地域社会の構築
防災パートナーシップ協定締結式

9月22日、町と株式会社テレビ宮崎(寺村明之代表取締役社長/本社・宮崎市)が防災パートナーシップ協定を締結しました。
この協定は、UMK開局50周年を機に、地上波やホームページ、アプリを活用した災害や防災情報の発信、災害の予防対策などを目的としたプロジェクトとして、災害に強い持続可能な地域社会の構築を目指し、県内全市町村と締結を行っています。



地域社会へ貢献
(株)ケーブルメディアワイワイより寄付

9月1日、株式会社ケーブルメディアワイワイ(末次稔代表取締役社長/本社・延岡市)から、町政の発展に役立ててほしいと、高千穂町へ寄付がありました。
贈呈式では、栢山慎二代表取締役専務から町長へ目録が手渡され、町長は「町内の行事をこまめに取材していただき非常にありがたい。町の情報発信事業に有効に使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。



新たな姿に生まれ変わり
御神木ヴァイオリンの完成報告

9月29日、音楽人の山内達哉さん(都城出身)が、高千穂神社のケヤキと狭野神社(高原町)のスギで製作された御神木ヴァイオリン「神祇」の完成報告に、町長室を訪れました。
製作は、バイオリンドクターの中澤宗幸さんに依頼。また、裏板には、国際画家のマークエステルさんに「ニギノミコト」を描いてもらうなど、構想から5年の歳月をかけ完成したヴァイオリンの音色を披露しました。



地域活性化の一手として
包括連携協定書締結調印式

9月16日、町と株式会社オマトリジャパン(代表取締役加藤優子/本社・東京都)は、町の地域文化とブランドイメージの浸透を目的とした包括連携協定を締結するため、オンラインによる調印式が行われました。今後、高千穂あまてらす鉄道のナイトシャトルツアーやパッコラフトを使った川下りなどアドベンチャーツアーリズム事業などを構築し、観光誘客や伝統文化の保存・継承に取組む予定です。



台風14号襲来



9月18日から19日かけて大型で非常に強い台風14号の接近に伴い、県内の広い範囲で大雨特別警報がでるなど、平成17年9月に甚大な被害をもたらした台風14号に匹敵するほどの被害を出しました。
本町においては、国道が通行できなくなるなど、町全体が一時孤立。県道や町道など土砂崩れや路肩決壊、倒木等により集落が孤立する事態に。また、電気・水道・光ケーブルのライフラインが一部地域で止まるなど、町民の生活に大打撃を与えました。